授業科目名： スポーツ経営管理論	教員の免許状取得のための選択科目	単位数： ２単位	担当教員名：川邊　保孝 担当形態　単独

実務内容 （実務家教員の場合）	
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校　保健体育）
各科目に含めることが必要な事項	教科に関する専門的事項「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）

「学位授与の方針」との関係

本授業は、星槎大学がディプロマポリシーとして掲げる「共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門知識を生かし、狭い専門領域を超えて統合しようとする意志を持つこと」や「問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと」といった項目との関係性を持つ。

授業のテーマ及び到達目標

（１）スポーツや体育、経営やマネジメントの定義を述べることができる。
（２）スポーツや体育における具体的なマネジメント課題を提示できる。
（３）体育・スポーツ経営の概念の説明と構造を図示すことができる。
（４）運動者行動や運動生活について説明できる。
（５）スポーツ事業に必要な経営資源を理解し、各種事業の特性を説明することができる。
（６）学校運動部活動改革と総合型地域スポーツクラブとの関係について説明できる。
（７）スポーツ事業を進めていく上で必要となるマーケティングの志向について説明できる。
（８）スポーツ経営過程について説明することができる。
（９）NPO 法人格や指定管理者制度について説明できる。

授業の概要

本授業では、体育・スポーツ経営学の学問領域における知を基軸とし、学校体育をはじめとしたスポーツに関する組織や制度（仕組み）を理解することで、各種スポーツ組織の力を高め体育・スポーツの環境整備に必要な対策を創造できる能力を養うことを目的としている。授業（スクーリング）の形態としては講義＋グループワークを行う。また、授業の展開としてはテキストおよび配布プリントに基づいて学修してもらう。さらに、学修の状況に応じてテキスト以外の教材を活用していく。

第１回：オリエンテーション　スポーツ経営学概論
第２回：我が国のスポーツを取り巻く現状と課題
第３回：スポーツ経営の概念と構造
第４回：運動者行動と運動生活の捉え方
第５回：スポーツ事業と経営資源
第６回：スポーツ事業論(1)エリア・サービスの捉え方とスポーツ施設の性格論
第７回：スポーツ事業論(2)プログラム・サービスの捉え方とスポーツサービスのタイプや形態論
第８回：スポーツ事業論(3)クラブ・サービスの捉え方と部活動や地域スポーツクラブの組織論

第９回：スポーツマネジメントのトピック(1) 部活動改革と総合型地域スポーツクラブ
第１０回：スポーツ事業論(4)スポーツマーケティングの基本
第１１回：スポーツ経営過程論(1)計画化：経営計画の種類と立案プロセス
第１２回：スポーツ経営過程論(2)組織化：組織の構造と特性
第１３回：スポーツ経営過程論(3)統制化：経営評価の視点とコントロール
第１４回：スポーツマネジメントのトピック(2) NPO 法人格と指定管理者制度
第１５回：総括
定期試験

スクーリングでの学修内容

　スクーリングでは、教科書を用いて講義＋グループワークを行う。前半部分では事前のレポートテーマとしている「スポーツや体育、経営やマネジメントなどの言葉の意味」、「スポーツの多様な価値」、「スポーツ環境の構築に向けた課題」を中心に講義を進め、レポート作成時の復習を兼ねて現在における体育・スポーツ経営学の基本を学修する。後半部分は、学校体育をはじめとした各種スポーツ組織（経営体）における「スポーツ事業論」、「スポーツ経営過程論」、「スポーツマネジメントのトピック」などを学修して科目修得試験に備える講義を行う。（主に第１回～第１４回の内容を含む）

教科書

柳沢和雄・木村和彦・清水紀宏（編）「テキスト体育・スポーツ経営学」（大修館書店）

参考文献

柳沢和雄・清水紀宏・中西純司（編）「よくわかるスポーツマネジメント」（大修館書店）
山下秋二・中西純司・松岡宏隆（編）「図とイラストで学ぶ　新しいスポーツマネジメント」（大修館書店）

学生に対する評価

　本授業は、「スクーリング評価２５％」「レポート評価２５％」「科目習得試験５０％」の割合で総合して評価する